

## 令和 5 年度 国 語 科 シラバス

科 目	古典探究	単位数	2	履修学年・クラス (講座)	2年普通科文系
使用教科書	「高等学校 古典探究-古文編-」(第一学習社)「高等学校 古典探究-漢文編-」				
補助教材等	「これからの古典文法・改訂版」「新明説漢文」(尚文出版) 「みるみる覚える古文単語300+敬語30」(いっぴな書店) 「3step 新成古典」(尚文出版)				

### 1 学習の到達目標

<p>言葉による見方、考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。【知識及び技能】</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。【思考力・判断力・表現力】</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。【学びに向かう態度・人間性等】</p>
--

### 2 学習方法等 (授業担当者からのメッセージ)

<p>○社会生活を円滑に営む上で必要な「言葉」の力を身に付けるための大切な授業です。学習活動それぞれのねらい・目的を意識しながら、積極的に授業へ取り組んでください。</p> <p>○予習として必ず本文を通読し、意味のわからない語句は辞書等で調べておきましょう。内容的に疑問を抱いた点については授業内で解決し、授業後はふり返って内容を確認してください。</p> <p>○授業では「読む」「書く」活動だけでなく、「話す」「聞く」活動も行います。互いに相手が理解しやすいよう工夫を凝らしつつ自分の考えや思いを伝え合うことで、思考力を鍛え、表現力を磨くことができます。</p> <p>○国語力の伸長を図ることは、短期間で効率的にできることではありません。日頃から本や新聞を読み、活字に慣れ親しむことで、語彙力を増やし、表現の幅を広げ、豊かな日本語の力を身に付けるよう心掛けましょう。</p>
---

### 3 学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けていると共に、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させている。
主な評価方法	・ペーパーテスト(事実に必要な知識の習得を問う問題及び知識の概念的な理解を問う問題)の結果	・ペーパーテスト ・作成したポートフォリオの内容 ・レポート記述内容 ・グループでの話し合いや発表などの場面での観察	・授業中の発言内容 ・行動観察 ・生徒による自己評価や相互評価の様子及び記述内容

#### 4 学習及び評価計画

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

月	単元	教材	時数	学習内容	評価規準
4	古文入門	「古今著聞集」	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。</li> <li>・古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辞について理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文語のきまりについて理解を深める。(a)</li> <li>・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。(b)</li> <li>・積極的に説話を読み、和歌を含んだ説話の特質について理解を深めようとしている。(c)</li> </ul>
5	歌物語	「大和物語」	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。</li> <li>・作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文語の決まりについて理解を深める。(a)</li> <li>・学習の見通しをもって歌物語を読み、和歌のよまれた事情が記述された歌物語の特徴について、理解を深めようとしている。(c)</li> </ul>
6	伝奇物語	「竹取物語」	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平安初期に書かれた作り物語の場面設定や心理描写を読み味わい、その伝奇性を生んだ古代人の想像力に触れる。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝奇的作り物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。(b)</li> <li>・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。(b)</li> </ul>
7 8	故事・寓話	「推敲」  「吳越同舟」	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。</li> <li>・故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・訓読のきまりについて理解を深める。</li> <li>・故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった話を読んで、わかった内容を説明しようとしている。</li> </ul>
9	名家の文章	「雑説」	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の展開を的確に捉えるとともに、比喩にこめられた作者のものの考え方について理解を深める。</li> <li>・論説という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。</li> <li>・論説の構成・展開のしかたについて理解を深める。</li> <li>・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓読のきまりについて理解を深める。</li> <li>・積極的に論説を読んで文章の展開を整理するとともに、比喩にこめられた作者の考えを捉えようとしている。</li> </ul>
10	項羽と劉邦	「鴻門の会」	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の描写を読み解くことを通して、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深める。</li> <li>・史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。</li> <li>・作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史伝を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・各場面の展開を整理し、登場人物の言動から、それぞれの心情や性格を進んで捉えようとしている。</li> </ul>

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

月	単元	教材	時数	学習内容	評価規準
11	物語	「源氏物語」	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。</li> <li>・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。(b)</li> <li>・内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。(c)</li> </ul>
12	物語	平家物語	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軍記物語を読んで、登場人物の行動と、それを支える思想や歴史的背景を理解し、考えを深める。</li> <li>・我が国の文化の特質について理解を深める。</li> <li>・軍記物語を思想的背景・歴史的背景に注意しながら読み、積極的に自分の考えを広げたり深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軍記物語という文章の種類や和漢混交文という古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。(b)</li> <li>・文体の歴史的背景をふまえて『平家物語』を読み、学習の見通しをもって、和漢混淆文の特色について理解を深めようとしている。(c)</li> </ul>
1	諸家の文章	「孟子」	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『論語』と並ぶ儒家の古典である『孟子』を読み、古代中国思想について理解する。</li> <li>・思想という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。</li> <li>・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。</li> <li>・思想を述べた文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に『孟子』を読み、孟子が政治に「仁義」を求める理由と、彼の「人性」に対する考えを説明しようとしている。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・思想を述べた文章の特徴について理解を深める。</li> </ul>
2 3	物語	「大鏡」	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史物語という、実際の歴史取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿の一端に触れる。</li> <li>・今までの学習を生かして歴史物語を読み、作者の意図をふまえて内容を的確に捉え、構成や展開について積極的に評価しようとしている。</li> <li>・内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。(b)</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。(a)</li> <li>・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。(a)</li> </ul>